

みやぎハイスクール通信

発行日：令和6年7月25日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

7月号の目次

- 1 マナーアップの取組紹介
 - (1) 仙台第三高校 (2) 古川黎明高校
- 2 特色ある学校行事等の紹介
 - (1) 白石工業高校 (2) 名取高校 (3) 泉高校 (4) 古川高校
 - (5) 加美農業高校 (6) 南郷高校 (7) 登米総合産業高校
 - (8) 築館高校 (9) 岩ヶ崎高校 (10) 迫桜高校
 - (11) 本吉響高校 (12) 角田高校
- 3 生徒の活躍（活動の成果報告等）
 - (1) 柴田高校 (2) 松島高校 (3) 佐沼高校
- 4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）
 - (1) 利府高校 (2) 鹿島台商業高校

1 マナーアップの取組紹介

(1) 仙台第三高校

〈三高マナーアップ運動〉

本校のマナーアップ運動は、交通安全委員会・生徒会が中心に活動しています。本校は自転車通学者がとても多いため、これらの活動はとても重要です。

今年度4月から本校は自転車通学が申請制となり、自転車通学の要件としてヘルメットの着用が義務化されました。義務化によりヘルメットの着用率は大幅にあがりましたが、県内の高校生の自転車事故は後を絶ちません。そこで、本校ではPTAの方々と一緒に行った4月交通安全街頭指導から始まり、様々な活動を行いました。4月中旬には、仙台東警察署の方々と協力し自転車安全利用キャンペーンとして、マナー啓発リーフレットやグッズ配布を行い、本校生徒へ向けて自転車の安全な利用とヘルメットの重要性について呼びかけました。そのほか、5月にも同様の活動を行い、継続的なマナーアップ運動を行っています。

例年行っている活動としては、4月・5月・8月・11月に職員と交通安全委員会の生徒による朝の交通安全登校指導があります。この活動はPTAや地域の交通安全協会の方の御協力のもと、合同で実施することもあります。地域の方々と交流することもできるため、とても大切な活動です。さらに、毎年“みやぎ高校生サイクルサミット”へ参加しています。県内の高校生と情報交換や意見交換を行い、交通安全の啓発に向けたアイデアを出し合い、高校生の自転車マナーがよりよいものになるよう活動しています。そのほか、交通安全講話や三高ロードマップを作成しホームページに掲載するなど、様々な活動を通してマナーアップ運動を進めています。今後も定期的な活動と、他校や地域と情報共有を続けながらマナー向上に努めていきたいと思っております。



1 自転車安全利用キャンペーン（仙台東署合同）



2 サイクルサミット2023の様子

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

(2) 古川黎明高校

〈特別活動(LHR) いじめについて考える〉

本校の校訓は「自律・進取・至誠」です。

教育目標は、以下の3つ

- (1) 「創造力」の育成
- (2) 「自主・自立の精神」の育成
- (3) 「共生の心」の涵養

を掲げて日々の教育活動を展開しています。

令和6年度は7つの重点目標を掲げており、そのうち、

○生徒が安心して学べる学校・学年・学級づくり

○違いを認め尊重し合う、いじめを生まない心の醸成

では、様々な状況におけるいじめについて考える取組を行っています。6月26日(水)の全校LHRでは「いじめについて考える」と題して、「いじめ防止対策推進法」及び「いじめの定義」の理解、さらにはクラスごとのグループワークで「嫌な思いをするときはどんなときか」「いじめを生まないクラスづくり」についてディスカッションを行いました。「ネガティブ発言をしない」「チクチク言葉に気をつける」「みんなで挨拶を交わせるクラスにする」など、身近なところから取り組んでいこうという意識が生まれた活動になりました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

2 特色ある学校行事等の紹介

(1) 白石工業高校

〈特色ある取組紹介〉

私たちは日々「ものづくり」の力を高め、地域に根ざし、地域に貢献できる学校づくりに努めています。

【1】 技を磨き、コンテストや競技会へ挑戦！

授業で学んだ技術に磨きをかけて、社会で通用する「技」にレベルアップしています。そして各種コンテストなどにチャレンジすることで、身に付けた技術を発揮することや目標の達成に向けて努力することの大切さを学んでいます。



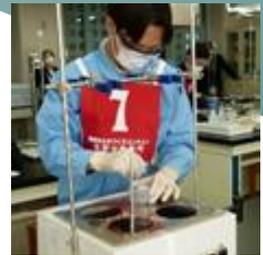
旋 盤



電気工事



木材加工



化学分析

【高校生ものづくりコンテスト】への挑戦

【2】 ものづくりを通して地域と繋がる！

これまで様々な機会を通して、地域との繋がりを大切にしてきました。

地域で開催されるものづくり体験イベントや、手作りした木製のおもちゃを保育園、幼稚園の子ども達にプレゼントする活動などを行っています。

また、地域の小・中・支援学校と連携した「志教育」にも取り組んでいます。ここでは地域で活用するプランターの製作、紙すきや紙染めなどのものづくり体験などを通じ、お互いの姿をとおして自分の在り方について主体的に考え、集団の組織の中でよりよい人間関係を築く力や社会性を養う事に繋がります。

今年度も多くの地域イベントに参加する予定です。これからも地域との繋がりを大切にしていきたいと思えます。



こけしコンクールものづくり体験イベント

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 名取高校

〈進路指導部 様々な取組〉

令和6年3月卒業生の四年制大学・短期大学進学者は、112名で過去最多となりました。専門・各種学校等進学者は86名、公務員を含めた就職者は51名でした。就職者が減少傾向にありますが、進学先、就職先が多岐にわたるのが名取高校の特徴です。このように多様な進路に対応するために様々な取組を行っています。

1年生から「大学進学希望者集会」や「就職希望者集会」を開催し、進路意識の醸成を図ります。進学関係では、生徒向け・保護者向けのガイダンスや専門分野に特化した看護医療系ガイダンスなどを行っています。就職関係では、岩沼市、名取市等と連携した地元企業説明会やインターンシップ、岩沼ロータリークラブ様による模擬面接会などを実施しています。生徒が上級学校や企業の情報をよく知り、納得して進路を選択できるように、学校として手厚い指導を行っています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(3) 泉高校

〈オーストラリア海外研修〉

令和6年3月に全行程11日間の日程でオーストラリア海外研修を実施しました。英語科及び普通科の1年生27名が参加し、オーストラリアのクィーンズランド州ブリスベンを訪れました。



ホームステイをしながら現地の高校に4日間通い、その高校の生徒と一緒に授業を受けたり、休み時間やランチタイムを一緒に過ごしたり、現地の講師から英語の特別レッスンを受けたりしました。また、現地の小学生や高校生を招いて、折り紙やけん玉などを体験してもらいながら日本文化を紹介するという活動も行いました。特に、折り紙で手裏剣を作る体験は小学生に大好評でした。

滞在中2日間は体験学習としてオーストラリアの固有種がいる動物園やゴールドコーストのビーチ、テーマパークなどを訪れ、楽しみました。

自然豊かなブリスベンの郊外でのホームステイということもあり、庭先に野生のカンガルーがやって来ることもありました。放課後や休日はホストファミリーと過ごすので、学校以外でも英語を使う場面を多く得ることができました。ホストファミリーは、観光や買い物に連れていってくれたり、親戚を集めてBBQを開いてくれたりと、心から本校生をもてなしてくれました。本校生達は、難しい英語を使わなくても、これまで学んだ英語を使って自分の意志を伝えようとするのが大切だということを感じました。

8日間のホームステイは短い日程ではありましたが、言語だけでなく、オーストラリアの文化や人の温かさに触れた良い研修となりました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

(4) 古川高校

〈オープンスクール・学校説明会〉



今年度の古川高校オープンスクールは7月25日(木)に開催予定です。本校のオープンスクールの特徴は、オープンスクールスタッフを中心とした生徒主体の運営にあります。全体会では、学校生活や入試についての説明に加え、生徒会長による学校行事の魅力を含めた学校紹介と、母校愛あふれるOB・OGからの熱いメッセージが込められた古高生の三年間が紹介されます。その後の懇談会では、現役生から古高生の一日が紹介され、受験勉強の仕方を学んだり、アットホームな雰囲気での入学後の話や質問ができたりと、とても楽しい企画となっております。例年参加した

中学生のみなさんには好評の企画となっております。最後は部活動見学を行い、午前中だけではありますが、文武両道を柱とする古高の魅力を感じ取る貴重な一日となるはずです。今年度は熱中症対策として、全体会から空調設備のある各教室で行います。皆さんの来校を心よりお待ちしております。

9月28日(土)には中学生対象の学校説明会が予定されています。中学1・2年生が対象ですが、今回のオープンスクールに参加できない中学3年生も参加可能(中3生保護者も参加できます)となっておりますので、こちらの機会も御活用ください。また、小学5・6年生対象の学校説明会は、古高祭一般公開日の7月20日(土)、9:10からと11:30からの2回実施致します。古高祭を楽しみつつ、古高の魅力を感じ取っていただけたらと思います。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(5) 加美農業高校

〈心を耕し、地域と共に歩み一世紀！〉

本校には本州最大の広大な校地や農地、自然豊かな環境、寮などがあります。大崎耕土の大地に根ざし、耕心の校訓を掲げ、地域と共に124年の歴史を刻んでいます。

この教育環境をいかし、農業の専門高校ならではの行事がたくさんあります。例えば、5月に行われる全校田植えです。全校田植えでは、各クラスの手植えの仕上がりの美しさ、クラスの団結力などを総合的に審査するクラス対抗の大会です。

今年は5月24日（金）に開催しました。かけ声で気持ちを合わせるクラス、お揃いのTシャツを着て盛り上がるクラスなど、各クラスが自分たちの持ち味を発揮しながら心をひとつに田植えを行いました。

本校は収穫祭、研究発表会など農業高校ならではの行事が他にもあります。みなさんも一緒に農業高校ライフに参加してみませんか。

学校のウェブサイトでは学校行事や学習の様子を公開しています。ぜひ御覧ください。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://kamino-h.myswan.ed.jp>

(6) 南郷高校

〈農場部 全校田植え・緑化活動〉

今年度は、初の試みで全校生徒・教職員・PTA・同窓会が一丸となり、手植えによる田植えを実施しました。当日は天候にも恵まれ、盛大に実施することができました。生徒の大半が素足で田んぼに入るのが初めての経験でしたが、楽しく参加することができました。

また、全校生徒が、樹木の刈り込み体験を行う、緑化活動も実施しました。この行事も今年度初めての体験でしたが、初めて刈り込みハサミを手にする生徒が大半で苦戦しながらも、造園士になった気分で、最後には手際良く行うことができました。次年度も是非体験したいと言っていました。

本校は全校生徒が30名ですが、小規模校だからこそできるイベントがあります。普通科の生徒及び教職員も農業を通して、植物を愛する心を養ってほしいものです。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

(7) 登米総合産業高校

〈学校設定科目「産業基礎」(第2学年)〉

本校では専門学科で学ぶ学習を深化させるとともに、幅広く産業について知識を身に付けさせるために学校設定科目「産業基礎」を設置しています。今回から5回にわたり、地域社会で活躍している方々からの講話を開催します。7月3日(水)は、登米市産業経済部の阿部氏をお招きして登米市の産業について講話をいただきました。生徒たちは、登米市の農業、林業、商業、工業、観光などの現状や課題、具体的な取組事例、改善策などを学びました。また、講話の内容をしっかりとメモしておき、レポートとしてまとめていました。

本校のホームページに学校紹介動画や特色ある教育活動について掲載していますので、ぜひ御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(8) 築館高校

〈人のためプロジェクトの御紹介〉

築館高校の新しい伝統となりつつある取組に「人のためプロジェクト [人P] 」があります。人Pでは生徒が自ら動き地域貢献を目指して様々な活動に取り組んでいます。地域のイベントやお祭りなどでのボランティア活動、震災復興応援歌の作成・被災地での披露、リサイクル品を回収し高齢者施設などに消毒液を寄贈する活動など、その内容は多岐にわたっています。

特に、ボランティア活動は多くの市民の方々に認知されている「築高の顔」とも言える取組です。地域の団体・個人から学校にボランティア派遣要請が届き、参加を希望する生徒が現地に赴いて地域の方々と活動を共にします。ハーフマラソン運営支援、サマースクール学習支援、地域のお祭りなどの伝統行事の運営、被災した地域での清掃活動など、年間30件に及び要請に対応し、参加生徒数は延べ700名を超える年もありました。ここ数年はコロナ禍で要請が激減しましたが、昨年度は450名超の生徒が活動に参加し、以前の姿に戻りつつあります。参加した生徒は、地元の方々との交流を通じ、言葉では表せないたいへん多くの事を体験から学んで帰ってきます。

「人のために何かをする」ということ自体が私たちの喜びであり、成長の糧となるだけでなく、自分も「人や地域のために何かできる」という大きな自信すら与えてくれます。これからも築館高校は地域貢献に邁進していきます。



(写真は朝のリサイクル品回収の様子)

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tukiko.myswan.ed.jp>

(9) 岩ヶ崎高校

〈岩高祭 開催!〉

本校では例年8月下旬に岩高祭（文化祭）を開催しています。今年度は、9月1日（日）に一般公開を行います。昨年度の一般公開は入場者数に制限をかけずに実施し、また、地域の方々にもステージ発表や企画に御協力いただき、保護者だけでなく地域の方々を含めて多くの方々に御来場いただきました。

本行事は、文化部によるステージ発表や実験の実演、各クラスの展示発表・アトラクションなどを中心として、生徒たちが主体となって企画・運営をする岩高を代表する行事となっています。

今年度は、「おいでよ! 岩高祭! ~繋ごう岩ヶ崎の輪~」をテーマに実行委員が中心となって準備を進めています。一般公開の日には、是非会場に足を運んでいただき、生徒たちの取組を御覧ください。きっと、岩高生のパワーが感じられる日となるはずです。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

(10) 迫桜高校

〈部活動・生徒会活動〉

運動部は、各部がインターハイ出場を目指し活発に練習に励んでいます。今年度は、男子バレー部が県高校総体でベスト16に進出しました。その他の部でも、数多くの生徒が県高校総体出場を果たし、大健闘いたしました。

文化部では今年度、写真部が岐阜県で行われる全国高校総合文化祭「2024ぎふ総文」に出場します。写真部は7年連続での全国大会出場です。

生徒会執行部では、『生徒が主体となって生徒会活動を盛り上げる』をモットーに、これまでコロナ禍で実施が困難だった活動を、コロナ禍前の状態で実施しようと手探りしながら計画しています。まずは7月中旬の「スポーツ大会」で、熱中症に注意しながら全校で楽しめる企画を進めています。また、学校内外の清掃活動や募金活動も随時行っています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(11) 本吉響高校

〈地域学校との花壇植栽交流〉

6月12日(水)、気仙沼支援学校高等部の生徒と本校で農業を選択している3年次の7名が交流会を実施しました。内容は本校で育てたサルビアとマリーゴールドの苗を支援学校の花壇と一緒に植栽する活動です。自己紹介の後、各校の代表生徒が、スライドを使用してそれぞれの学校の学習内容や校外活動を紹介し、次に本校生徒が植栽に使用する草花苗とその特徴などをクイズ形式で説明しました。植栽活動では、3つのグループに分かれ、3か所の花壇に植栽しました。本校生徒が植栽の方法や注意事項を説明した後、実際に植え付けを行いました。植え付ける前に花壇に苗を配置してみて、見る人を楽しませるような色合いにするために、生徒同士で考えながら並べ、バランスよく植えました。植栽後は花壇の前で記念撮影を行い、閉会式では本校生徒が感想を発表し、支援学校生から手作りの作品を贈呈していただきました。普段は交流する機会がないですが、今回の交流会を通じて、それぞれの学校の活動内容を知ることができ、また一緒に作業をすることで楽しく植栽活動を行うことができました。今後は植栽活動だけでなく、お互いの学校行事や活動を一緒にやり、さらに交流を深めることができればと思います。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

(12) 角田高校

〈伝統の角白定期戦〉

今年度も5月に白石高校との伝統の一戦が実施されました。例年、定期戦に向け各クラスでのぼりを作成したり全校応援練習を行ったりと、学校が一丸となって応援ムードを盛り上げます。



〈創立以来続く国際交流事業〉

3月に希望者を募り約2週間のアメリカ短期研修を実施しています。姉妹校ドーバー高校（アメリカ合衆国デラウェア州）を訪問して現地生徒と一緒に授業を受けたり、ホームステイで現地の暮らしを体験したりと、貴重な経験ができます。また、友好校締結をした城南中学（中国浙江省）や、角田市の姉妹都市グリーンフィールド市（アメリカ合衆国インディアナ州）とも交流があります。（写真左は平成31年度実施アメリカ短期研修・写真右は令和5年度グリーンフィールド市交流）



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（1）柴田高校

〈柴高生 部活動で躍動！〉

◎県総体・東北大会多数入賞

本校は、体育科を設置する学校として部活動にも力を入れています。県内の大会のみならず、東北大会やインターハイ、国民スポーツ大会での入賞など、全国レベルの大会で好成績を収めています。今年度の大会でも、選手一人一人が日々の成果を遺憾なく発揮しました。

県総体や東北大会では陸上競技部をはじめ、ウエイトリフティング部、柔道部など、複数の部活動で上位入賞を果たし、インターハイへの出場を決めています。なかでも陸上競技部は開校4年目以降36年連続でのインターハイ出場となります。また、ウエイトリフティング部は、県総体学校対抗男子の部で7大会連続13回目の優勝を達成するなど、その力強さを見せつけました。これからの大会へ向けて練習にもますます熱が入ります。柴田高校の熱い夏はまだまだ始まったばかりです。今後も柴田高校生徒の活躍に注目してください。

部活動の様子や大会結果は随時ホームページにて更新します。どうぞご覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sibata.myswan.ed.jp>

(2) 松島高校

〈令和6年度 松島フォーラム〉

令和6年7月2日（火）に松島文化観光交流館にて、松島フォーラムを開催いたしました。このイベントは松島の観光に係る環境の現状を知り、観光課題の解決方法を考察することを目的としたもので、本校観光科の1学年から3学年の生徒が参加する年に1度のイベントです。

午前の部では、講師として松島観光協会会長の志賀様をお招きし、「観光と防災、観光から見る松島について」という内容で講演をいただきました。松島には、歴史上の人々があこがれた美しい海と260余りの島々があり、歴史的建造物も多くあることから観光資源に溢れているというお話がありました。今後の松島の観光は体験型観光を通して、インバウンドの観光客の招致が求められており、時代に合わせた観光を行うことが大切であるとのことでした。防災面では、災害図上訓練である「DIG」というゲームをもとに、災害を想定した訓練を日ごろから行うことが大切であり、外国人観光客の避難についても考えていく必要があるとお話がありました。

松島町産業観光課 観光班長 酒井様には、「松島町の観光事業の現状とこれからのについて」という内容で講演をいただきました。松島を訪れる人々の人数はコロナ禍前の水準に戻ってきており、今後は日帰り観光だけでなく、宿泊者数を増やし長期的に滞在してもらえる施策が必要だとお話されていました。また、円安の影響もあり、外国人観光客が増加傾向にあるが、観光客が増えたことでオーバーツーリズムによる問題が発生しているとのことでした。

特定非営利活動法人E-T-ECの佐々木様、大谷様、齊藤様による講演では「松島町での藻場再生の取組」についてお話しいただきました。海を綺麗にする性質を持つ藻場は、東日本大震災により壊滅してしまいましたが、藻場を増やす活動を行っており、昨年度は過去最高の数値に戻ったと話されていました。しかし、地球温暖化により水温が上昇しているため、なかなか思うように藻場が増えていないとのことでした。生徒は、松島の海を綺麗に保つために藻場再生活動に積極的に取り組みたいと感じたようでした。

午後の部ではNPO法人ケアブレンド代表の中山様より、「ストレスコントロール」という題でお話をいただきました。生徒は様々なペアワークを行い、自分がどのような場面でストレスを感じ、そのストレスをどのように解消したら良いかについて学びました。観光科の1・2学年の生徒は夏季休業中に実習を行い、3年生は進路活動が本格化していくため、自分を知るとい意味でとても貴重な時間となりました。

生徒は1日の講演を聞き、松島の観光の現状や課題に対する理解を深めたようでした。今回教えていただいた知識を最大限活用し、今後の観光科の活動に繋げて欲しいと思います。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(3) 佐沼高校

〈「佐高生の活躍～活動の成果報告～」〉

昨年度の国公立大合格者は34名で、東北大1名、宮城教育大4名、宮城大には3名が合格しました。私立大学には、のべ211名が合格し、地元の東北学院大をはじめ首都圏の難関大へも多くの生徒が進学しています。公務員試験に16名、看護医療系専門学校にも20名超が合格するなど、数多くの生徒が幅広い分野で進路達成を果たしています。

部活動も盛んであり、今年度はボート部男子舵手付クォドルプルが県総体、東北大会を制してインターハイに、箏曲部並びに美術部2名が全国高等学校総合文化祭にそれぞれ出場します。また、ラグビー部が38年振りの県総体優勝を果たし、東北大会I部第3位という輝かしい成績を収めました。

7月には3年探究発表会が、8月には佐高祭が開催されます。特に佐高祭は、文化部のステージ発表だけではなく、個性あふれる模擬店や地元商店会とのコラボ企画で毎年大いに盛り上がります。たくさんの方の御来場をお待ちしています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sanuma.myswan.ed.jp/>

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（1）利府高校

〈♡利府高祭についてのお知らせです♡〉

今年度は8月30日（金）・31日（土）の2日間にわたって、利府高祭を開催いたします。

利府高校の文化祭には、例年、地域の方々に御来校いただいております。本校生が企画した催し物や展示、ステージ発表や模擬店など、趣向を凝らした内容を楽しんでいらっしゃいます。

今年度も、本校文化部や有志団体による展示発表や催しなど、楽しい企画をたくさん行う予定で準備を進めております。皆さんの御来校を心よりお待ちしております！

*詳しくは本校ホームページを御覧ください。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://rifu-h.myswan.ed.jp/>

（2）鹿島台商業高校

〈地域学習について〉

5月14日（火）1年生で『地域学習』を実施しました。当日は、鹿島台歴史研究会の皆さんの案内で鎌田三之助の生涯とその功績（品井沼干拓事業）に触れながら、ゆかりの地を巡りました。本校では、互市にも例年足を運び地域理解を深めていますが、今年も秋の互市では販売実習、「駅からハイキング」など、地域の中で活動する機会を予定しています。

1年生の皆さんには、今回の学びをより発展的な活動にいかしてほしいと思います。



〈総合的な探究の時間「わらじぶろぐらむ」〉

本校では、今年から総合的な探究の時間を「わらじぶろぐらむ」としてスタート。

5月31日（金）には、県内企業など、11の事業所をお呼びし「ミライセミナー」を実施しました。この行事は、今年で4年目。直接、企業の方から事業内容等の話を聞くことができました。

〈オープンスクール開催〉

8月3日（土）にオープンスクールを開催します。学校生活や入試に関する説明、学校行事や部活動などの学校紹介を行います。当日は「ケアブレンド鹿島台商業高校子どもフェスティバル」も開催する予定です。

皆さんの御来場を心よりお待ちしております。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

ケアブレンド鹿島台商業高校 参加費無料

小学生の遊び相手を探すイベントをオンラインで開催します！
どなたでも気軽に参加してください！

日時：8月3日(土)10時～12時
場所：鹿島台商業高校
(大崎市鹿島台匠長字生師前44)
もちもの→上履き、スリッパ

【発表】 祭りコーナー
地域講話 UFOキャッチャー
【交流】 プラ板

ゲーム大会
スマブラ大会!!
エントリー-先着8名
マリオカート大会!!
エントリー-先着8名

黒ひげ、ジェンガ、UNO
サッカー盤、野球盤
人生ゲーム、ピンボール等

主催/鹿島台商業高校 協力/NPO法人ケアブレンド
【後援】宮城県教育委員会 大崎市教育委員会
参加希望や、ご不明な点などございましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。
tel:090-1066-7188 mail: jam19801218@gmail.com